

連絡道路の整備による地域間交流の促進

—都市計画道路 新都市中央通り線(面野井工区)の整備—



- 種 別：都市計画道路 新都市中央通り線 (面野井工区)
- 事業箇所：つくば市島名～面野井
- 計画延長：1,130 m (うち今回開通 870 m)
- 幅 員：30 m / 13 m (4車線・両側歩道)

【事業概要】

都市計画道路 新都市中央通り線は、つくば市中心部を起点に、つくばエクスプレス沿線の葛城、島名・福田坪、萱丸の3地区を連絡し、常磐自動車道谷田部IC付近に至る、計画延長13.6kmの幹線道路です。このうち、平成25年度には、葛城地区から面野井台交差点までの260mを供用開始し、その後も整備を進めてまいりまして、令和元年度8月、残る870mが開通いたしました。

【整備効果】

今回の供用により、つくば市役所や多くの大型商業施設等が立ち並ぶ葛城地区と島名・福田坪地区等を連絡する道路ネットワークが形成されました。これにより、つくばエクスプレス沿線地区における新たなまちづくりがさらに促進され、地域の発展に大きく寄与することが期待されています。

島名・福田坪地区～葛城地区間のアクセス時間 **1分短縮**

計画交通量 28,400台/日 × 時間価値(乗用車) 39.60円/分・台 × 短縮 1分
 = 1日 **約 110 万円** の便益！！